

目指す学校像	1 規律を重んじながら生徒一人一人の個性を伸ばす、創意と活力に満ちた学校 2 地域の様々な教育的ニーズに応える、生徒、保護者及び地域住民に広く信頼される学校 3 生徒一人一人の興味・関心、能力・適性に応じた進路の実現ができる学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
1 学力や学習意欲に関して多様な生徒に対応するため、特別進学クラスの設置や少人数による授業展開（数学・英語）を実施している。また、生徒主体による中学校での出前授業をはじめ、地域連携活動を通して生徒の自己肯定感・有用感を高める指導を推進している。さらに、各種検定試験の全員受験を実施し、3年次における資格記入率（就職履歴書）は100%となるなど、一定の成果をあげている。 2 進路希望は、就職から国公立大学進学までおり、生徒一人一人の希望は多岐にわたっている。就職では、学校を通しての就職内定率が98%となるなど高い実績をあげている。進学については、特に医療・看護系学校への希望が年々増えているが、組織的かつ継続的な取組により全員の進路実現を果たした。 3 積極的な指導を通して生徒の規範意識は高まっている。また、昇降口指導や服装指導を全職員で継続した結果、チェックを受けた生徒数は、年度末には激減した。ここ数年続いていた重大交通事故は1件もなかった。また、家庭と連携した指導と教職員全体の指導実践をさらに一致させ、指導体制をより強固にしている。 4 生徒会役員の定例会を毎週1回行うことができおり、活発に活動できている。また応援団、文化祭実行委員会に多くの生徒が積極的に参加するようになった。ボランティア活動にも熱心に取り組んでいる。部活動加入率は38%と低い状況である。特別活動を通じた活動記録を「江総ポートフォリオ」に記録している。	基礎学力の向上と個に応じた学力の定着	・授業に臨む基本的な態度を育成し、学力の定着を図る。また、主体的に学ぶ意識を育成する。 ・英語・数学での習熟度別学習指導の工夫改善に努め、個別指導の充実を図る。特編クラスの指導を組織化し、計画的に行う。 ・生徒に興味・関心を持たせる授業を工夫し、知識・技能の習熟を図る。また、各種検定試験の合格を目指す。	B
	基本的生活習慣の確立と規範意識の育成	・頭髪・服装・遅刻指導について、日常的・継続的な生徒指導を徹底する。 ・保護者に対して、様々な機会を通して規則・規律の尊重についての理解を求める。 ・生徒指導に対する職員間の共通理解を深め、一致協力して指導にあたり、充実させる。 ・授業や学校行事で5分前を意識した行動に努める。	B
	進路希望の実現と指導体制の確立	・4年制大学進学希望者に対する指導方法について再考し、4年制大学進学者の増加を目指す。 ・インターンシップを実施し、進路について自ら考え主体的に決定できる力を育てる。 ・「産業社会と人間」の時間の一層の充実に努め、3年間を見通した進路シラバスに基づく指導を実践する。 ・模擬試験や資格取得を推進し、進路希望の実現を図る。 ・進路当番や企業訪問等での担当者の負担公平化に努める。	A
	地域と連携した学校づくりの推進	・家庭や地域社会と連携した、開かれた学校づくりに務める。 ・「チャレンジ・プロジェクト」を通して、地域貢献、地域連携、地域共生を目指す。また、プロジェクトの精選・見直しを随時行い、その質を高める。	A
	生徒の主体的活動の充実	・部活動へ積極的に参加し、学校生活への興味・関心を高める。 ・学校行事や生徒会活動に積極的に参加できる工夫をする。 ・勤労体験やボランティア活動を通して心の育成を図る。 ・部活動顧問の適正配置や、効率的な練習方法を研究・導入するなど顧問の負担感を減少させる。 ・「江総ポートフォリオ」と「キャリアパスポート」の融合を図り、生徒一人一人の探究活動を記録し、自己を見つめる契機とする。	B

※評価基準： A：十分達成できた B：達成できた C：やや不十分だった D：不十分だった

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教科指導		①基礎学力の定着を図る。	・授業に臨む基本的な態度を育成する。	B	B 授業を今以上にスムーズに開始する 授業の相互観察を活発にする
		②学習指導法の工夫を図る。	・定期的に授業公開を行い、指導力の向上を目指す。	B	
教 科	国 語	①個別指導を充実し、大学進学に対応できる学力を育成する。	・3年次に小論文を進路指導部・他教科と連携して指導できる体制を作る。 ・国語研究の授業と放課後の個別指導を通して、様々な進学希望に対応できるようにする。	B	B 連携強化が必要 4大指導が不足しがち。担任は生徒指導で課外ができないこともあるため、時間や人員、連携に配慮が必要
		②基礎基本の定着をはかり、「分かる」授業を展開して生徒の興味関心を高める。	・教科書の内容以外に、国語の一般常識の学習や漢字練習を取り入れ、基礎学力の向上を目指す。 ・各授業における達成目標や評価規準を明確にし、言語活動を充実させることで、生徒に「できた」「分かった」と実感させ、学習意欲を引き出させる。	A B	
	地 歴 公 民	①基礎学力の定着を図る。	・授業に臨む基本的な態度を育成するとともに、基本的な事項や時事問題についてどの生徒も理解できるよう、テーマや新聞などの教材を工夫する。	B	B 次年度も継続して実施する 目標の明確化、言語活動・問題解決型学習の実施が必要 I C T教材の活用も含めた教材・教授法の工夫 各種検定受検の推奨と進路希望に応じた課外の充実 「世界の中の茨城」をはじめとする地域を題材にした教材の活用
		②個に応じた指導を行う。	・大学入学共通テスト・一般入試対応や歴史能力検定試験、就職試験対策などの課外を行うとともに授業中も机間指導を積極的に取り入れ、生徒の実態に応じた指導を展開する。	C	
		③地域に対する理解を深め、郷土愛の精神を育成する。	・授業に地域の歴史・地勢・風土などの話題を取り入れることで、地域に対する理解を深め、地域を大切に作る姿勢を育てる。	B	
	数 学	①基礎学力の定着を図る。	・単元の導入やまとめに既習事項の確認を行い、生徒の理解度に合わせた指導をする。 ・日頃から家庭学習用のプリント課題を作成し、学習習慣の定着を図る。 ・マナトレを活用し、既習事項の学び直しをすることで、知識の漏れをなくす。	A B B	B 次年度も継続して指導する 教科の教員内での徹底 基礎の重要性の徹底 教員間の連携 特進以外の系列の生徒への対応
		②生徒に数学を学ぶ意義を実感させ学ぶ意欲の向上を図る。	・授業で学習した知識を活用する活動を定期的に取り入れ、数学の有用性を実感できるようにする。 ・少人数指導により、個々に応じた指導を行う。	B	
		③入試に対応できる学力の定着を図る。	・放課後や休み時間を利用して課外を通して、より難易度の高い問題に触れる機会をつくる。 ・個々の能力に応じてプリント等を用意し、レベルの高い内容を学習させる。	A	
		①基礎学力の定着を図る。 ②大学進学に対応した指導の充実を図る。	・基本的な知識や概念を授業などで繰り返し取り上げ、小テストや演習問題で定着を図る。 ・授業展開や実験などを工夫して興味・関心を持たせ、個別指導を充実させる。 ・進学課外や宿題等を生徒に課し、学習する習慣を身に付けさせる。	A B B	B 日常生活と関連させながらコロナ禍における効果的な授業方法を検討・実践する 身につけた知識を活用し判断する力を身につけさせる 視聴覚教材を活用し思考力や表現力を養う 自ら考え運動を選択したり練習を考る姿勢を身につけさせる 芸術への寛容な姿勢を育む 興味感動を共有する積極性を育む 表現する意識と技術を伸ばす 他教科の内容との連携
	保 健 体 育	①社会生活で必要とされる知識の定着を図る。	・卒業後の社会生活を送るうえで必要とされる基礎的な知識を、繰り返し取り上げ定着を図る。	B	
		②学習意欲が高まるような指導の工夫を図る。	・視聴覚素材を効果的に使用したり、生徒にとって身近な話題や問題を積極的に取り上げ、生徒の興味・関心を促す。	B	
		③安全の確保と技能・体力の向上を図る。	・体育時の服装を徹底し安全を確保すると同時に、技能を身に付け体力の向上を図るための資質・能力の育成を図る。	A	
	芸 術	①芸術への愛好心を育む。	・芸術的活動を通して、感性と教養を向上させ、実生活の中で表現されたものへの気付きや感性を高める。	A	A 芸術への寛容な姿勢を育む 興味感動を共有する積極性を育む 表現する意識と技術を伸ばす 他教科の内容との連携
		②基礎表現技術を身に付ける。	・可能な限り個々の技術的レベルに沿って、表現体験の実現を目指す。	B	
		③個性豊かな表現力を伸ばす。	・形や指示に沿うのではなく、意思と思考から発せられた表現に、前向きに取り組む。	A	
	外 国 語	①分かる授業を展開する。	・個々の理解度を十分に計りながら、習熟度別授業を行うことで基礎基本の定着を図る。 ・必要に応じてT・Tを取り入れ、個別に対応することで分かる授業を展開する。	A A	B 基礎学力を高める教材の使用を継続し、効果のある活用方法を検討する 英検で能力が試される4技能を伸ばすために、授業における生徒主体の活動内容を検討する 年次間の連携を密にし、3年間を見通しての指導内容を検討する 主体者としての生徒の実態を考慮 T T間での連携強化に努める 家庭経営者意識の醸成を図る 生徒の自主性を育む
		②英検の受験を奨励する。	・授業を通して生徒の受験を促し、希望者に対して課外指導を実施する。また二次試験に対応できるよう指導する。 ・英検で能力が試される4技能を伸ばすために、授業における生徒主体の活動内容を検討する。	B B	
		③入試に対応した実力を身につけさせる。	・上級学校受験希望生徒のニーズに応じた、より高度な授業を展開する。 ・基礎基本の定着を図り、更なる実力向上のため、放課後などに課外授業を行い受験対策を図る。	B B	
		①家庭生活を主体的に営むための基本的な知識と技術を育む。 ②家庭、地域の生活の充実向上を図る ③学校クラブ活動を通して自分たちに可能な地域貢献を行う。	・スモールステップの授業を取り入れる。 ・実習においてT Tの指導を行う。 ・ホームプロジェクトにより家庭生活の改善を図る。 ・学校クラブ活動を通して自分たちに可能な地域貢献を行う。	B B A A	

※評価基準： A：十分達成できた B：達成できた C：やや不十分だった D：不十分だった

教 科	情報	①情報活用の実践力を養う。	・協働的な作業を通して解決できるような課題を設定し、問題解決力を養う。	A	A	協働作業を増やす
			・自ら課題を見つけ、解決へ導くことができるような課題を設定し、主体的に学ぶ態度を養う。	B		課題設定から生徒に考えさせる
		②情報の科学的な理解を深める。	・情報システムやメディアリテラシーについて、プリント学習や実例の提示を通して理解させる。	A		発展的な内容に取り組む
	農 業		・情報セキュリティについて、映像教材や体験実習を通して理解させ、危機意識を高める。	A	A	モラルについても重点を置く
		①実践教育を通して、生徒の興味関心を農業に引きつける。	・実験実習をより工夫して、生徒が自主的に取り組む授業を目指す。	A		座学も工夫する
			・生徒の教材となる農場運営を心掛ける。	A		老朽化した設備の更新を行う
		②個々の生徒に応じ、農業教育における活躍の場を設ける。	・農業クラブ活動を通して、生徒の個々の能力を向上させる。（プロジェクト活動）	B		プロジェクト活動の活性化を図る
			・農業技術検定等の資格取得を目指す。	B		3級の合格率を上げる
		③学校と地域の連携を深め、地域貢献、地域共生を実践する。	・農場のHPをより充実させ、地域に情報を発信する。また、更新をこまめに行う。	A		継続する
	工 業		・地域の幼小中学生等に農業体験学習の場を提供する。また、地域の環境美化等に協力する。	A	A	継続する
		①規律ある態度の育成をする。	・実習服の正しい着用の徹底、実習を受ける姿勢、実習に取り組む基本的な態度を育成する。	A		引き続き指導に取り組む
		②学習内容の厳選を行う。	・実習内容・方法の再構築を行う。	A		さらに実践的な内容を検討する
	福 祉	③学校と地域の連携を深め、地域貢献、地域共生を実践する。	・出前授業や作品展示を通して地元中学校との交流を図り、ものづくりの楽しさやメカニカルテクノロジーの取り組みを伝えながら、地元に戻元できる人材を育てる。	B	B	コロナ対策をしながら実施できる形を検討する
		①基礎的な学力の向上と実践的な態度を身に付ける。	・社会福祉や介護の基礎的・基本的な知識や技術を総合的に学ぶ。	A		継続する
			・校外での介護実習を通して、より実践的な態度を育てる。	A		実施できるように検討する
		②一人一人の能力に応じた指導の工夫と改善を図る。	・生徒の能力と実態に合わせて、授業を工夫・改善する。	A		わかる授業を行う
			・主体的に学習する態度を身に付け、課題解決能力を形成する。	B		授業の工夫を行う
		③介護従事者としての専門的な知識・技術を習得し、育成する。	・対人援助を行う際のマナーについて生徒自らが認識し、あるべき姿を考えられるようにする。	B		継続する
			・福祉や介護について、看護の分野をなどから専門的な知識・技術の習得をする。	B		継続する
教 務	教 務		・介護福祉士実務者研修を全員取得する。	A	A	継続する
		④地域行事等に積極的に参加し、地域に還元できる人材を育てる。	・学校間交流等の行事への参加や実習・就職を通して、地域との連携を図る。	B		感染予防を行いながら実施に向けて検討する
			・「生徒活き活き育成プラン」の事業を通して、地域との連携を図る。	B		
		①学習環境の整備及び授業改善の推進を図る。	・授業の振替を確実にすることにより授業時間を確保する。	B	A	継続して推進する
			・中学校における授業参観やICT環境の整備により、授業改善に取り組む。	B		ICT活用の研修を充実する
		②教育課程や校内諸規程の見直しを検討する。	・教育課程検討委員会を中心に社会に開かれた教育課程を編成する。	A		学校設定科目の詳細を検討する
			・校内諸規程の見直しを継続して進める。	A	A	継続して推進する
		③地域との連携を推進する。	・「いなしき江総アクティブプラン」事業をもとに、地域との連携を充実させる。	B		継続して推進する
			・中学校での出前授業や作品展示を拡充させ、特色ある本校の教育活動を広報する。	A		継続して推進する
	生徒指導	①生徒の規範意識を高めると共に、基本的生活習慣の向上に努める。	・生徒との信頼関係の構築を重視し、面談や声かけなど、心に響く指導を展開する。	A	A	継続して推進する
			・規範意識や基本的生活習慣の向上と定着を図るため、職員全員で積極的な声かけを行う。	A		継続して推進する
			・ルールやマナーを尊重する態度を育成するため、職員間、職員と保護者の連携体制を強化する。	A		継続して推進する
		②自他の生命を尊重する精神を養うと共に、豊かな心を育成する。	・自他の生命、尊厳を尊重する精神を養うため、HR、年次集会や各種講話の充実を図る。	B	A	コロナ禍での充実策を検討する
			・交通マナーや交通安全の意識の向上を促すため、定期的な登下校指導、自転車・バイク点検、安全運転講習会を実施する。	A		交通事故は依然として発生しているが、重大事故は0件にできている
進路指導		①生徒個々に適した進路の選択、決定、実現を図る。	・年次と連携し、インターンシップを実施する。	D	B	今年度はコロナ禍のため中止した 今後は実施できる形を検討する
			・総合的な学習や「産業社会と人間」の授業との連携を深める。	C		さらに連携を深める
			・地域の事業所等と連携した講演会を実施し、生徒の勤労観、職業観を育む。	B		さらに推進を図る
			・地域の大学と連携し、サマースクール（学習合宿）を実施する。	D		実施できる形を検討する
		②生徒個々の進路希望に応じた学力の向上を図る。	・年次、教科と連携し放課後および長期休業中における進学課外、個別指導の充実を図る。	B		さらに充実を図る
			・生徒の学力向上および資格取得等を促す指導の充実を図る。	C		さらに充実を図る
		③進路希望実現のための指導方法を確立する。	・進路担当の役割を明確化し、組織的な指導体制を構築する。	B		さらに推進を図る
			・年次ごとの取組を情報発信し、次年度へ継承できる体制を構築する。	B		さらに推進を図る

※評価基準： A：十分達成できた B：達成できた C：やや不十分だった D：不十分だった

特別活動	①キャリアパスポートについて本校の「江総Portfolio」を活用し、行事を通じてキャリア形成を図る。	・生徒会定例会を毎週開き、本部役員の意識向上と資質の向上を図る。 ・江陵祭実行委員・クラスマッチ実行委員・応援委員等について、本部役員以外の多数の生徒が運営に参加し、主体的な活動ができるように支援する。	A A	A	より一層の活性化に努める 実施形態の検討等、ノウハウの伝達を行う
	②部（同好会）活動・委員会活動の活性化を図る。	・部活動説明会、見学会等を実施し、生徒が積極的に部活動などに加入・参加できるようにする。 ・年3回の各種委員会を設定し、目標設定・計画立案・反省・評価ができるようにする。	A B		令和5年度部活動改革への体制づくりを推進する 主体性の育成を図る
	③地域行事へ積極的に参加する。	・地元自治体と連携し、自治体主催の行事や「生徒活き活き育成プラン」等の事業を通して、地域の行事へ積極的に参加できるようにする。	B		感染状況を見て、連携を図る
保健厚生	①学校環境の整備、美化に努める。	・ゴミの分別回収、清掃分担区域の清掃の徹底を図る。 ・環境美化委員会の活性化を図る。	B A	B	大掃除の内容を精査する。 近隣地域の清掃活動の計画推進
	②健康について意識の高揚を図る。	・身体測定、健康診断を一斉実施し、「保健だより」による情報提供をする。 ・保健委員会の活性化を図る。	B B		継続して実施する 生徒自ら考え行動する
	③防災、安全衛生点検に努める。	・事故の未然防止を図るための避難訓練および校舎内外の点検、水質検査を実施する。	A		衛生委員会との連携をする
図 書	①図書館の利用頻度を高める。	・学校図書館にある資料を「図書館だより」やガラスケース、館内に見やすく提示する。 ・教職員、生徒が興味関心を持つ書籍を購入する。	A B	A	図書委員の参加を積極的に促す 希望図書はなるべく受け入れる
	②図書委員会の活性化を図る。	・書籍資料の点検、整理整頓を心がける。 ・県主催の研修会に参加し、他校生との交流を図り研鑽する。。	A B		見やすい配置を心がける 積極的に参加する
	③蔵書の管理を図る。	・コンピュータによる蔵書管理を進める。 ・書籍資料の受入、除籍を速やかに行う。	A A		蔵書点検、ラベルの張替 引き続き実行する
渉 外	①PTA活動の充実を図る。	・PTA会員による主体的な運営を行い、会員の行事への参加率を高める。 ・家庭と学校との密接な連携を目指し、会報誌の発行や学校行事等への積極的な参加を呼びかける。	B B	B	引き続き検討する 次年度は会報誌を発行する
	②教育環境の整備・充実を図る。	・登校・校外指導を通じ、生徒の規範意識、基本的生活習慣の定着を図る。 ・生徒・保護者からの声を聞き、よりよい校内環境を整えられるよう努める。	B B		登校指導への出席率を高める 保護者からの声を聞く環境を作る
	③会員相互の親睦を図る。	・興味・関心の高い研修を実施することで、多数の参加者を募り、会員相互の親睦を図る。 ・同窓会・後援会との連絡を密にし、学校行事等への一層の理解と協力を得る。	B A		次年度は研修旅行を実施する 引き続き協力を得る
1 年 次	①基本的生活習慣を確立する。	・挨拶の励行や標準服の正しい着用、時間の厳守等、基本的生活習慣の確立を図る。 ・学校が自己実現の場として最大限の機能を果たせるよう、常に環境改善に努める。	B B	B	継続して指導を行う 年次職員一同協力して行う
	②社会性の向上を図る。	・善悪を判断する力、正義感、公共のルールやマナーを守る姿勢を身に付けさせる。 ・周囲に感謝する心や互いに助け合う精神、多様な意見を尊重する姿勢を醸成する。	A B		引き続き指導する 意識させる場を設け身につけさせる
	③進路目標を設定し、基礎学力の定着を図る。	・日々の授業を大切にし、自ら考え、自ら学ぶ姿勢や意識の向上を図る。 ・検定等の資格取得を推奨し、進路意識を持たせながら学習意欲の向上に努める。	A C		引き続き指導する 次年度は資格取得を目指す
2 年 次	①基本的生活習慣を確立させ、規範意識を育成する。	・挨拶の励行や標準服の正しい着用、時間の厳守等、基本的生活習慣の確立を図る。 ・善悪を判断する力、正義感、公共のルールやマナーを守る姿勢を身に付けさせる。 ・周囲に感謝する心や互いに助け合う精神、多様な意見を尊重する姿勢を醸成する。	B B A	A	遅刻・欠席過多などの生徒に対する日常的・継続的な指導 生徒指導と進路指導との一体化
	②自主的・実践的態度を育成し、主体的活動の充実を図る。	・部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に参加する姿勢・態度を醸成する。 ・勤労体験・修学旅行等の校外諸活動を通して、社会性の向上と心の育成を図る。	A B		HR活動のさらなる活性化 修学旅行・就業体験の代替指導
	③基礎学力の定着と進路意識の育成・向上を図る。	・日々の授業や課外等を大切にし、自ら考え、自ら学ぶ姿勢や意識の向上を図る。 ・検定等の資格取得を推奨し、進路意識を持たせながら学習意欲の向上に努める。	B A		進学課外及び就職指導の充実 ポートフォリオの有効活用
3 年 次	①生徒個々の希望や適正に応じた進路の実現を図る。	・授業や課外を通して基礎学力の向上を図ると共に、必要な資質を育む。 ・総合的学習やガイダンスを通して必要な情報を提供し、適切な進路指導を行う。	B B	A	年次引継ぎ会議にて伝達 企業に関する個別の情報を提供
	②基本的生活習慣を確立する。	・挨拶の励行、正しい標準服の着用、時間の厳守等、積極的に声かけを行う。 ・家庭と連携・協力して規範意識を高めると共に、問題行動の未然防止に努める。	A A		年次引継ぎ会議にて伝達 年次引継ぎ会議にて伝達
	③社会性の向上を図る。	・学校生活を通して適切な意志決定・行動選択をする能力を養う。 ・様々な考え方や意見を尊重しつつ、他と協力出来る態度を身に付けさせる。	A A		年次引継ぎ会議にて伝達 年次引継ぎ会議にて伝達

※評価基準： A：十分達成できた B：達成できた C：やや不十分だった D：不十分だった